北九州市立中島小学校 学校通信 第４０号

なかしま

令和６年１２月２３日（月）発行
校長　栗　原　友　恵
北九州市小倉北区昭和町１６番１号
HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/
TEL:（０９３）９２１－１６９０

＜学校教育目標＞
体・徳・知　調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成
＜目指す子ども像＞
○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども
＜目指す学校像＞
○安全な学校　○温かい学校
○笑顔があふれる学校
○「中島小大好き」と言える学校
○成長（学習）し続ける学校
○保護者・地域・関係機関と連携する学校

小学生の冬休みの過ごし方。遊びと勉強を充実させるポイントは？

今日は令和6年最後の登校日。明日24日から、15日間の冬休みが始まります。クリスマスやお正月など、たくさんの楽しいイベントが詰まっています。冬休みを有意義に過ごすには、遊びも勉強も力を注ぎたいですね。そのためには、計画を立てて学習に取り組むことが大切です。

冬休みを有意義に過ごすためのポイント【勉強編】

低学年の場合

①基本的な学習習慣を身に付ける

小学校高学年や中学生、高校生になってから勉強で苦労している子どもの多くは、基本的な学習習慣が身に付いていないことが少なくありません。低学年のうちに基本的な学習習慣を身に付けておきましょう。おすすめの方法は、学校の宿題を一気に終わらせないこと。冬休み中は毎日勉強に取り組めるように、1日の宿題の量を調整してみましょう。「1日1ページ宿題をして2週間で完成させる」など、毎日勉強する時間を作ることで、学習習慣が形成されます。

②苦手になりやすい算数は特に力を入れる

物を数えたり計算したりする習慣がないと、算数に苦手意識をもってしまう子どもは珍しくありません。小学3年生以降は内容もさらに難しくなっていくため、低学年で習う算数は、冬休みのうちにしっかり理解しておきましょう。

中学年の場合

①自分で計画を立てて宿題に取り組む

中学年になると子ども自身で考えたり、行動したりすることが少しずつ増えてきます。子どもの自主性や責任感を育むために、自分で計画を立てて宿題に取り組むようにします。その際、おうちの方も計画作りのサポートをしてください。冬休みに入る直前、または初日に勉強の計画を一緒に立て、進捗状況もおうちの方が随時チェックしてあげてください。

②勉強の継続を目標とする

勉強内容が難しくなる中学年では、勉強に対して苦手意識をもち始める子どもが増えてきます。子どもによっては、途中で諦めてしまうこともあるでしょう。大切なのは継続です。難しい内容でも毎日こつこつと勉強を続けていくことで、克服できるようになります。

高学年の場合

①苦手科目は徹底的に復習を促す

苦手科目がある場合、徹底的に復習しましょう。高学年で習う内容は、どれも中学校で勉強する内容のベースとなるもの。理解不十分のまま中学校へ進学してしまうと、確実に授業でつまずきます。時間のある冬休み中に苦手科目に取り組み、できるだけ克服しておきましょう。

②自主性を大切にする

最初に冬休み中の学習計画を立てたら、日々の学習は基本的に子どもの自主性に任せます。おうちの方は進捗状況を確認し、計画通りに進んでいなかったら適時フォローをしてください。その際、「どうすればいいと思う？」など、子ども自身に解決策や対策を考えさせることが大切です。

冬休みを有意義に過ごすためのポイント【生活編】

①規則正しい生活を意識する

休みだからといって朝遅くまで寝ていたり、夜遅くまで起きていたりするのはよくありません。生活習慣が乱れることで勉強時間を確保できなくなったり、体調を崩してしまったりする可能性も生じます。

②大掃除や家事の手伝い、身の回りの整理をする

年末の大掃除をはじめ、家事の手伝いや身の回りの整理なども、積極的にすることが大切です。生活スキルを身に付けられるだけでなく、家族の一員であることを意識することで、子どもの達成感や自己肯定感も高まっていきます。

③クリスマスやお正月はしっかりと楽しむ

クリスマスのイベントを、子どもが自分で考えたり準備したりすることで、自主性や発想力、豊かな感性などを育めるようになります。またお正月も同じです。飾り付けをしたり、お正月料理を一緒に作ったりする中で、日本の伝統行事の大切さも学べます。

④ウィンタースポーツや冬の遊びなどを体験させる

スキーやスノーボード、スケートといったウィンタースポーツは、冬にしか体験できません。雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりするのもいいでしょう。家の前で縄跳びや羽根つき（バドミントン）をするのもいいですね。また、冬休みならではのスポーツ観戦もおすすめです。高校ラグビーや高校サッカー、箱根駅伝などを見るのも、スポーツをしている子どもたちにとっていい刺激になるのではないでしょうか。

【保護者の皆様へ】　先日の保護者懇談会には、お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。10月から始まった後期ですが、前半の3か月で、宿泊行事、体育発表会、たてわり活動等、様々な活動を行うことができました。無事に今年が終えられますのも、子どもたちの頑張りと、それを支えてくださった保護者や地域の皆様のおかげと感謝しております。教職員一同、来年も最善を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。